

[1] 座標平面における次の 3 つの直線  $l, m, n$  を考える:

$l$  は点  $A(1, 0, -2)$  を通り、ベクトル  $\vec{u} = (2, 1, -1)$  に平行な直線である

$m$  は点  $B(1, 2, -3)$  を通り、ベクトル  $\vec{v} = (1, -1, 1)$  に平行な直線である

$n$  は点  $B(1, -1, 0)$  を通り、ベクトル  $\vec{w} = (1, 2, 1)$  に平行な直線である

$P$  を  $l$  上の点として、 $P$  から  $m, n$  へ下ろした垂線の足をそれぞれ  $Q, R$  とする。このとき、 $PQ^2 + PR^2$  を最小にするような  $P$  と、そのときの  $PQ^2 + PR^2$  を求めよ。

[2014 京都大]

[解答欄]



[2] 正四面体  $OABC$  の1辺の長さを1とする。辺  $OA$  を  $2:1$  に内分する点を  $P$ 、辺  $OB$  を  $1:2$  に内分する点を  $Q$  とし、 $0 < t < 1$  を満たす  $t$  に対して、辺  $OC$  を  $t:1-t$  に内分する点を  $R$  とする。

(1)  $PQ$  の長さを求めよ。

(2)  $\triangle PQR$  の面積が最小となるときの  $t$  の値を求めよ。

[2008 一橋大]

[解答欄]



[3] 四面体 OABC があり、 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}, \overrightarrow{OB} = \vec{b}, \overrightarrow{OC} = \vec{c}$  とする。三角形 ABC の重心を G とする。点 D, E, P を  $\overrightarrow{OD} = 2\vec{b}, \overrightarrow{OE} = 3\vec{c}, \overrightarrow{OP} = 6\overrightarrow{OG}$  をみたす点として、平面 ADE と直線 OP の交点を Q とする。次の問いに答えよ。

(1)  $\overrightarrow{OQ}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  を用いて表せ。

(2) 三角形 ADE の面積を  $S_1$ 、三角形 QDE の面積を  $S_2$  とするとき、 $\frac{S_2}{S_1}$  を求めよ。

(3) 四面体 OADE の体積を  $V_1$ 、四面体 PQDE の体積を  $V_2$  とするとき、 $\frac{V_2}{V_1}$  を求めよ。

[2016 横浜国立大]

[解答欄]



[4] 1 辺の長さが 1 である正四面体 OABC を考える。辺 OA の中点を P、  
辺 OB を 2:1 に内分する点を Q、辺 OC を 1:3 に内分する点を R とする。  
以下の問いに答えよ。

(1) 線分 PQ の長さと線分 PR の長さを求めよ。

(2)  $\overrightarrow{PQ}$  と  $\overrightarrow{PR}$  の内積  $\overrightarrow{PQ} \cdot \overrightarrow{PR}$  を求めよ。

(3) 三角形 PQR の面積を求めよ。

[2015 九州大]

[解答欄]

